

# 授業科目 地域理学療法学

【担当教員名】 松本 香好美、非常勤講師		対象学年	3	対象学科	理学	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	◎	◎			
【概要・一般目標：G10】 地域理学療法を知り、介護保険制度やサービスについて学ぶ。 地域における理学療法士の役割について理解を深める。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域理学療法について概要を知り、説明できる。</li> <li>2. 介護保険制度やサービスについて理解し、説明ができる。</li> <li>3. 地域における関連職種との連携について学ぶ。</li> <li>4. 地域における理学療法士の役割について説明ができる。</li> <li>5. 海外の地域リハビリテーションについて学び、日本との違いを説明できる。</li> <li>6. 事例を通じて問題点を抽出し、適切な介入内容とサービス提供案を提示できる。</li> </ol>						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域理学療法総論				1	講義
2	介護保険制度、障害者自立支援法 1				2	講義
3	介護保険制度、障害者自立支援法 2				2	講義
4	介護保険制度と地域理学療法 1				1-4	講義
5	介護保険制度と地域理学療法 2				1-4	講義
6	介護保険制度と地域理学療法 3				1-4	講義
7	介護保険制度と地域理学療法 4				1-4	講義
8	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 1				1-4	講義
9	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 2				1-4	講義
10	海外における地域理学療法 1				5	講義
11	海外における地域理学療法 2				5	講義
12	地域における関連職種との連携 1				3、4	講義
13	地域における関連職種との連携 2				3、4	講義
14	事例検討 1				6	講義
15	事例検討 2、まとめ				1-6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		地域リハビリテーション学テキスト 改訂第2版	細田多穂（監修）、備酒伸彦（編集）、 樋口由美（編集） 他	南光堂	2012・4,200円＋税・ 配布資料	
参考書		標準理学療法学 地域理学療法学 改訂第3版	牧田光代（編集）、金谷さとみ（編集）	医学書院	2012・4,935円	
		地域リハビリテーションマニュアル 第2版	伊藤利之（編集）、白野明（編集）、 田中理（編集） 他	三輪書店	2008・4,410円	
その他の資料						
【評価方法】 単位取得においては定期試験で60点以上を必須条件とし、その点数に小テストまたはレポート課題、出席状況、意欲的に取り組む授業態度等を加味し、成績を総合的に評価する。			【履修上の留意点】			